

最新！医療・福祉分野での 現場業務を改善する新たな UXの社会実装事例

開催日時：令和5年3月28日(火) 13時30分～15時

近年、様々な領域でのUX（ユーザー体験）が注目されています。

京都市ではコロナ2019の流行を危機として、産・官・学が連携し、新たなUXをデザインすることにより、保健所の業務DXに挑みました。

本シンポジウムでは、京都市保健所のAIチャットボットシステム・LINEを活用したアプリとコロナ2019陽性者管理のシステム開発・導入を例に、今後ますます重要になる医療・福祉分野での現場業務を改善する新たなUXの社会実装事例について総括します。どなた様でも奮ってご参加ください。

座長 京都大学大学院医学研究科 医療情報学 黒田知宏

演者

I. 本研究における感染症自己報告システムの役割と概要

京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学 長尾美紀

II. 京都市保健所におけるコロナ2019対策業務のDX化

京都市 保健福祉局医療衛生推進室 医療衛生企画課 佐々木崇剛

III. 現場業務を可視化し新たなUXを創り出すハッカソン

(株) エクサウィザーズ 結城崇

IV. 保健所DXを実現するKarteConnect × UXデザイン

ネオス(株) 宮城島英希

V. 自治体DXにおけるアジャイル開発・導入における課題

(株) 最中屋 大槻俊知

対象者 : 大学関係者、保健所・地方自治体関係者、医療・介護事業者等

配信形式 : Zoom ウェビナー (事前登録不要)

<https://us02web.zoom.us/j/82188179650?pwd=UG5LNHdKazJtMml4V3Q1RERsZ3RwUT09> パスコード: 482591



京都市
CITY OF KYOTO



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

Connect with
Potentials



主催：京都大学大学院医学研究科 臨床病態検査学

問い合わせ先： kensa@med.kyoto-u.ac.jp

本シンポジウムは以下の事業の一環として開催いたします。

国立研究開発法人 科学技術振興機構 戦略的国際共同プログラム (SICORP)
日本-米国 「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) により求められる新たな生活様様に資するデジタルサイエンス」 研究事業
「プライバシー強化型の移動・社会相互作用分析によるハイパーローカル機器監視とパンデミック対策」 (研究代表者 吉川正俊 京都大学大学院情報学研究科教授)

きょうと府内定着等推進事業 (地域連携PBL)